



# OSS開発手順

須藤功平

株式会社クリアコード

OSS Gateワークショップ  
2016-03-26

# 立場一覧



- ✓ ビギナー
- ✓ メンター
- ✓ 進行役

# 立場別目的



## ✓ ビギナー

- ✓ OSSの開発に参加したい!  
(どうして参加したいかは問わない!)

## ✓ メンター・進行役

- ✓ OSSの開発に参加する人を  
増やしたい!  
(どうして増やしたいかは問わない!)

# ビギナー



- ✓ OSSの開発に参加したい
  - ✓ でも参加したことはない
- ✓ OSSの開発に参加した事はある
  - ✓ でもまだ自信がない

# メンター



- ✓ ビギナーのサポート係
- ✓ OSS開発経験者
  - ✓ → 困ったり悩んだら積極的に相談

# 進行役



- ✓ メンターの1人
- ✓ 進行と全体を気にかける係

# ワークショップの目的



## ビギナーの OSS開発参加へ の 不安を払拭

# 目的の理由



不安を払拭できれば  
OSSの開発に参加できるはず!



# 目的の実現方法概要



## 手順を伝える

- ✓ 知らないから不安なんだよね
- ✓ ただし、**1つだけ**伝える
  - ✓ 不安には  
多くの選択肢より1つのオススメ

# 目的の実現方法



## 1. 開発参加時の手順を知る

- ✓ オススメ手順を知る

## 2. 実践する

- ✓ ビギナーが実際に体験する

# 開発参加時の手順



途中で詰まったらメモしておく  
(後で直すため)

- ✓ まず動かす(ものすごく大事)
- ✓ 開発用にインストール
- ✓ テストを実行
- ✓ ...

# 詰まったらメモ



- ✓ うまくいかない…
  - ✓ 文句言っちゃう？
  - ✓ 文句を言っている時間で**直す**？
  - ✓ OSS開発参加チャンス!楽しもう!
  - ✓ 直したら次の人は**うまくいく**!
  - ✓ 直すときにメモを活用

# メモ



- ✓ 作業メモissueへ
- ✓ 再現できる情報を書く  
(大事なので午後も説明する)
- ✓ 何をした?何を期待?実際は?

メンターへ:最終的に「報告をもらう人が理解できる情報」にブラッシュアップするので、ここでは雑でもいい。ブラッシュアップ時に参考になる情報を入れるようにフォロー。自分ならどういう情報を入れる?  
メンターへ:バグレポートに必要な情報を想像するといいかも

# メモ例



brewでインストールできるはずなのに失敗した  
(↑期待する結果)

(↓なにをしたか)  
% brew install XXX  
(...コマンドの実行結果...)  
(↑実際の結果)  
XXX is not found

↑というようにパッケージがないと言われる

# まず動かす



1. 開発対象OSSを確認
2. ドキュメントを確認
  - ✓「ユーザー」として動かす
  - ✓「開発者」としてじゃない!

# ユーザーとして動かす



- ✓ ドキュメントを読んで…  
(↓に不備があったらメモ。後で直す。)
- ✓ 概要理解
- ✓ インストール
- ✓ チュートリアル実行など…



# 「まず動かす」の目標



このOSSが  
わかった

メンターへ: 詰まった人のフォローは、「問題を代わりに解決」ではなく、自分はどうやって調べる、一緒にやってみよう、お願い

# わかる



- ✓ ↓ の状態になっていること
- ✓ 自分が見える
- ✓ 他の人に説明できる
- ✓ 他の類似ツールと比較できる

「まず動かす」で  
「わかる」状態に  
ならなかったら…

# わからない…



- ✓ ドキュメントが足りなかった？
  - ✓ サンプルコードを確認
  - ✓ テストコードを確認
  - ✓ パラメーターを変えながら動かす
- ✓ ↑ はメモポイント！

メンターへ: こういうときは自分はどうやっている？

メンターへ: 新しい視点を伝えて

# 開発参加時の手順



途中で詰まったらメモしておく  
(後で直すため)

- ✓ まず動かす(ものすごく大事)
- ✓ 開発用にインストール
- ✓ テストを実行
- ✓ ...

# 大事なこと



# 楽しむ！

# まずユーザーとして動かす



1. 対象OSSを確認→fork

2. ドキュメントを確認

(↓に不備→作業メモissueにメモ→後で直す)

✓ 概要理解・インストール・

✓ チュートリアル実行など…

このOSSがわかる!を目指す

(わかる = 自分が使える・他の人に説明できる)